

ナレッジシェア・ビジット

イノベーションのピースを揃えるスプリントプログラム

～メンバー相互に活動や場を紹介し、対話を通じて学び、共創のきっかけをつくります

2021年度活動レポート（サマリー版）

一般社団法人
Future Center Alliance Japan



イノベーションに必要な6つのピースをテーマに、メンバー間で互いに活動や場を紹介し合い、対話を通じて学び、共創のきっかけをつくるサプリメントプログラム。毎回FCAJメンバーの3社から、テーマにまつわる活動紹介や課題共有、最優先で取り組みたいこと等をお話いただきながら、メンバー間でのコラボレーションにつなげたり、オープンイノベーションの知見を深めたり、バーチャルコミュニティを広げることを図りました。

目的と構想力

目的工学、社会価値創造のための事業構想力

イノベーション 人材育成

イノベーションのための
スキル・マインド等

場の運営

共創の場から成果を
生み出すプロセス

研究開発・ リビングラボ

生活者起点による
新たな研究開発モデル

組織インフラ

イノベーション戦略と場の関係、組織文化、制度

共創エコシステム

場が形成するソーシャルネットワーク

■メンバー間でのコラボレーション
につなげる

■オープンイノベーションを推進する
ための知見を深める

■継続的に情報共有するためのコ
ミュニティを広げる
(Slack「バーチャルフューチャーセンター」
の活用)

目的と構想力



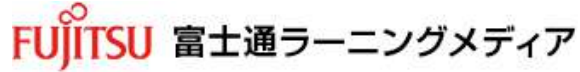
人を、想う力。街を、想う力。



イノベーション
人材育成

場の運営

研究開発・
リビングラボ



組織インフラ

Eat Well, Live Well.



共創エコシステム



各テーマから導き出された以下のような論点(青字)や対策(緑字)に対して、FCAJ活動(赤字)の中でも対応していく予定です。

目的と構想力

ソサイタル・イノベーションを構想する力を高め、ステークホルダーとつながるコミュニティを形成するには？

▶企業と社会／ステークホルダーをつなぐ「構想の場」をつくる

▶構想の場「サーキュラーソサエティ」等、FCAJアカデミー研修「都市機能のソサイタル・イノベーションを考える」

イノベーション人材育成

内発的動機で失敗を恐れずに
チャレンジできる人材をいかに増やすか？

▶企業内「宇宙人」を育て守るプログラム

▶FCAJアカデミー「ダイナモ人材育成」

場の運営

社会的価値と企業利益をすり合わせる
バウンダリーオブジェクトをどう設計するか？

▶境界を越え相互作用を創発する仕組み作り

▶EMIC(Evaluation for Innovation
Centers)

研究開発・リビングラボ

研究者がユーザーとが向かい合って
生活者起点で連携するには？

▶リビングラボとの“付き合い方”の標準化

▶構想の場「オープンサイエンス」

組織インフラ

人的資本・組織資本・関係資本・知的資本などを有機的につなぐには？

▶企業内のイノベーション人材とその周辺人材の横のつながりを作る

▶「ナレッジシェアビジット」(継続)、FCAJバーチャルFCでの交流

共創エコシステム

共通の目的に基づき様々なステークホルダーをオーケストレーションできる人材やメソッドとは？

▶リビングラボの“制度設計”

▶構想の場「デザインラボ」、FCAJアカデミー「リビングラボ研究会」

目的と構想力

- 構想力に求められるのはコミュニティのような関係資本
- 真に中立的に大目的を構想できる人材育成を
- SDGs課題の当事者に共感して自分ごとで語る
- 人事部門が社員の振る舞いを左右し風土をつくる

イノベーション人材育成

- 個人の内発的動機を促すための情報提供や外部接点づくり
- アクションを起こした人材に併走する機能の実装
- 組織と個人が互いの成長を支援し合う文化の醸成
- 心理的安全の元での対話による小さな変革の積み重ね

場の運営

- 「場」を通じた技術者の社会/ビジネスへの意識改革
- 自分ごとで工夫を凝らせる余白が「場」への愛着を生む
- 意図的な多様性から生まれるセレンディピティで「場」の社内ファンを増やす
- 社会的価値と企業利益をすり合わせるためのプラグイン

研究開発・リビングラボ

- 土の人と風の人との資本の交換がイノベーションに
- 課題と手段の見方が異なる研究者とデザイナーをつなぐ中間的存在
- 自社のデータを共有資産にしてオープン産学連携で価値領域を広げる
- ユーザーとの直接的な関係構築で生活全体で課題を把握

組織インフラ

- 人的資本・組織資本・関係資本という【土壌】に知的資本【根】をしっかり伸ばす
- 経営方針を象徴的に体現する「場」が社員のマインドを変える
- 共創相手の選択は技術者起点でなく場の運営者起点の提案型で
- 研究者のスキルセットの可視化により適材がクライアントとの対話に積極参加

共創エコシステム

- 周りからリスペクトされているという心理的安全性の確保
- コミュニティへの情報発信から場への導線をデザイン
- 問いを深めて正しいベクトルへ導くコミュニケーター人材の育成
- 市民側にいる行政や問題意識が高い人との連携